



農作業の効率化を図るため 省力化栽培を積極的に導入

組合長：工藤秀範さん

(組合長歴12年)

組合員数：28人

主な活動：水稲と転作大豆の栽培

輝くみらい人

田舎館基幹支店管内

農事組合法人 アグリ田舎館

代表理事組合長 工藤 ^{ひでのり} 秀範 さん(64)

農事組合法人アグリ田舎館の組合長を務めている工藤秀範さん。平成19年に発足し、高樋地区の水田を集約して水稲と転作大豆の栽培を始めた。27年に法人化し、工藤組合長は「法人化のメリットとして、規模拡大や農業機械の更新など様々あるが、社会的信用を得られることが最も大きなメリットとなった」と話す。

同組合では、農作業を効率よく行うために省力化栽培の取り組みを実施しており、水稲は全て直播栽培で行っている。工藤組合長は、これからも作付面積や状況に応じた効率的な栽培方法を取り入れていきたいと話した。

工藤組合長は「経営の安定化を図るため、高樋地区の方に組合の運営を受け継いでほしいという気持ちがあり、PR活動を努めていきたい」と話した。

